

参考資料-1 研究成果の公表状況

1. 道路空間の安全性向上に関する研究

(1) 交通安全対策の効果分析

- 1) 森 望、鹿野島秀行、若月健：交通安全事業の効果評価、土木技術資料、Vol.43、No.4、pp.50-55、(財)土木研究センター、2001.4
- 2) 鹿野島秀行、森 望：バイパス整備による都市圏域の交通事故状況の変化に関する考察ーネットワークとリンクの各側面に着目してー、土木技術資料、Vol.43、No.6、pp.30-35、(財)土木研究センター、2001.6
- 3) 鹿野島秀行：Analysis of the Effect of Traffic Safety Countermeasures on Traffic Accident Black Spots、2001 WCTR Proceedings、Topic Area C2、Paper Number 3245 (CD) 、WCTR、2001.7
- 4) 池田武司：幹線道路における交通安全対策に関する研究、土木技術資料、Vol.45、No.3、pp.32-37、(財)土木研究センター、2003.3
- 5) 道路空間高度化研究室、他 4 機関：幹線道における交通安全対策に関する研究、土木技術資料、Vol.46、No.3、pp.18-21、(財)土木研究センター、2004.3
- 6) 池田武司、森 望、他 7 名：高齢者ドライバーが第 1 当事者である事故の道路交通環境要因と対策に関する事例的分析、土木計画学研究・講演集、Vol.30、297 (CD) 、(社)土木学会、2004.11
- 7) 池田武司、岡 邦彦：交通安全施設設置による交通事故削減効果の定量的評価、第 26 回日本道路会議論文集、30S02 (CD) 、(社)日本道路協会、2005.10

(2) 事故と道路構造との関係

- 8) 鹿野島秀行、森 望：直近に狭幅員交差道路を有する信号交差点の安全性に関する一考察、第 24 回日本道路会議一般論文集、pp.58-59、(社)日本道路協会、2001.10
- 9) 森 望、池田武司：Safety Evaluations of Road Space from the Perspective of Three-Dimensional Alignment and Length of Road Structures、XXIInd PIARC World Road Congress Proceedings、PIARC-World Road Association、2003.10
- 10) 池田武司、森 望：沿道の路外施設への出入り時に発生する事故に関する分析、土木計画学研究・講演集、Vol.28、331 (CD) 、(社)土木学会、2003.11
- 11) 池田武司、森 望：交通安全の観点からみた道路線形に関する一考察、第 25 回日本道路会議、02046 (CD)、(社)日本道路協会、2003.11
- 12) 池田武司、森 望、他 3 名：沿道の路外施設への出入り時に発生する事故に関する基礎的研究、土木計画学研究・論文集、Vol.21、pp.983-990、(社)土木学会、2004.9
- 13) 宮下直也、他 4 名：無信号交差点における出会い頭事故の分析、土木計画学研究・講演集、Vol.30、225(CD)、(社)土木学会、2004.11
- 14) 宮下直也、他 4 名：無信号交差点における出会い頭事故の分析、交通工学、Vol.39、No.6、pp.51-59、(社)交通工学研究会、2004.11

- 15) 池田武司 : Analysis of Correlation between Roadway Alignment and Traffic Accidents, 3rd International Symposium on Highway Geometric Design, POSTER SESSION - Rural Design Issues (CD)、Transportation Research Board、2005.6

(3) ヒヤリ事象の活用

- 16) 若月 健 : ヒヤリ地図、土木技術資料、Vol.43、No.10、pp.16、(財)土木研究センター、2001.10
- 17) 若月 健、森 望、高宮 進 : 高齢ドライバーのヒヤリ事象と要因、第 24 回日本道路会議一般論文集、pp.54-55、(社)日本道路協会、2001.10
- 18) 高宮 進、森 望、若月 健 : 自動車運転者版『ヒヤリ地図』の作成試行と考察、土木学会第 56 回年次学術講演会講演概要集、IV-031 (CD)、(社)土木学会、2001.10
- 19) 田村 央、森 望、鹿野島秀行 : 道路利用者からみた道路の安全性に関する検討、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.24-27、(財)土木研究センター、2002.9
- 20) 池田武司、森 望、高宮 進、他 2 名 : Study of Safety of Roads Based on Frightening Experiences of Road Users、21st ARRB & 11th ARRB Conference Proceedings、S44 (CD)、ARRB、2003.5
- 21) 池田武司、森 望、高宮 進 : ヒヤリ地図の作成方法と活用に向けた一考察、土木計画学研究・講演集、Vol.27、226 (CD)、(社)土木学会、2003.6
- 22) 池田武司、森 望、高宮 進、堤 敦洋 : 交差点における危険事象発生要因と計画・設計段階における留意点に関する一考察、土木計画学研究・講演集、Vol.28、(CD)、(社)土木学会、2003.11
- 23) 池田武司、高宮 進、森 望 : 「ヒヤリ事象」に基づく交差点での危険要因の分析と対策の検討、土木計画学研究・講演集、Vol.29、121(CD)、(社)土木学会、2004.6
- 24) 池田武司、高宮 進、森 望、堤 敦洋 : 交差点における危険事象発生要因と対策立案・計画設計上の留意点に関する一考察、土木計画学研究・論文集、Vol.21、pp.977-982、(社)土木学会、2004.9
- 25) 高宮 進、池田武司、森 望 : ヒヤリ地図の作成方法と活用に向けた一考察、土木計画学研究・論文集、Vol.21、pp.1035-1040、(社)土木学会、2004.9

(4) 交通安全施設の改良

- 26) 安藤和彦 : 車両用防護柵一性能規定による新しい構造の例一、土木技術資料、Vol.43、No.5、pp.1、(財)土木研究センター、2001.5
- 27) 安藤和彦、森 望 : 車両用防護柵の性能規定と確認試験方法、土木技術資料、Vol.43、No.5、pp.20-25、(財)土木研究センター、2001.5
- 28) 安藤和彦、森 望 : 防護柵連続基礎の設計に関する実験検討、第 24 回日本道路会議一般論文集、pp.32-33、(社)日本道路協会、2001.10
- 29) 安藤和彦 : 道路緩衝施設の開発、第 24 回日本道路会議一般論文集、pp.34-35、(社)日本道路協会、2001.10
- 30) 安藤和彦、森 望、若月 健 : 木製車両用防護柵の実験・検討、土木技術資料、Vol.43、No.11、

- pp.56-61、(財)土木研究センター、2001.11
- 31) 安藤和彦、森 望 : Development of a buffer fence to protect cars from direct collisions with supports、21st ARRB & 11th ARRB Conference Proceedings、S28 (CD)、ARRB、2003.5
 - 32) 安藤和彦 : Development Aesthetic Barriers (Ordinary Road Type and Expressway Type) in Japan、Development Aesthetic Barriers (Ordinary Road)、(CD)、Annual Meeting Proceedings、2004.1
 - 33) 安藤和彦、森 望 : 防護柵連続基礎の設計方法に関する検討、土木技術資料、Vol.46、No.6、pp.58-63、(財)土木研究センター、2004.6
 - 34) 安藤和彦、森 望 : フルカラー道路情報装置を用いた情報提供、2001 春季大会前刷り集、56-1、pp.1-4、(社)自動車技術会、2001.5
 - 35) 高宮 進、他 5 名 : 道路案内標識判読時における高齢ドライバーの運転特性ならびに判断能力に関する研究、土木計画学研究・論文集、Vol.18、No.5、pp.963-970、(社)土木学会、2001.9
 - 36) 安藤和彦 : 標識等の情報量・形態と判読時間に関する実験、自動車技術論文集、研究論文 15、(社)自動車技術会、2003.7
 - 37) 安藤和彦、森 望 : 高齢者を考慮した標識設計に関する検討、第 25 回日本道路会議、02026(CD)、(社)日本道路協会、2003.11
 - 38) 安藤和彦 : 霧中における LED 発光色の知覚特性、第 36 回照明学会全国大会、pp.126、(社)照明学会、2003.8
 - 39) 林堅太郎、安藤和彦、大谷 寛 : 歩行者用照明の必要照度に関する検討、第 24 回日本道路会議一般論文集、pp.28-29、(社)日本道路協会、2001.10
 - 40) 大谷 寛、安藤和彦、鹿野島秀行 : A Research on Interrelation between Illuminance at Intersections and Reduction in Traffic Accidents、Journal of Lighting & Visual Environment、Vol.26、No.1、pp.29-34、(社)照明学会、2002.4
 - 41) 林堅太郎、森 望、安藤和彦 : 歩道路面の明るさと視線距離に関する一考察、第 35 回照明学会全国大会論文集、pp.214-215、(社)照明学会、2002.8
 - 42) 安藤和彦、森 望、林堅太郎 : 歩行者用照明の必要照度に関する研究、第 35 回照明学会全国大会論文集、pp.225、(社)照明学会、2002.8
 - 43) 安藤和彦、鹿野島秀行 : Research on Interrelation between Illuminance at Intersections and Reduction in Traffic Accidents、The Lighting Journal、Vol.68、No.1、pp.14-21、Institution of Lighting Engineers、2003.1
 - 44) 安藤和彦、林堅太郎、森 望 : Study of Intensity of Illuminance Required by Pedestrian Lighting、2003 Meeting、International Commission on Illumination、2003.5
 - 45) 河合 隆、安藤和彦、林堅太郎 : 歩行者用照明の光源色が交通視環境に与える影響に関する検討、第 25 回日本道路会議、02027(CD)、(社)日本道路協会、2003.11
 - 46) 森 望、安藤和彦、林堅太郎 : Study of Intensity of Illuminance Required by Pedestrian Lighting、TRANSED 2004 Conference Proceedings、pp.150、TRANSED 2004、2004.5

- 47) 河合 隆、安藤和彦、森 望、林堅太郎:Research on the Influence of Light Source Colors on Visual Surroundings of Sidewalks at Night、TRANSED 2004 Conference Proceedings、pp.146、TRANSED 2004、2004.5
- 48) 河合 隆、安藤和彦、森 望、林堅太郎:道路照明の光源の違いが自動車運転者の視環境に及ぼす影響について、第 37 回度照明学会全国大会講演論文集、pp.182、(社)照明学会、2004.8
- 49) 河合 隆、安藤和彦、森 望:交差点照明の照明要件に関する研究、第 24 回交通工学研究発表会論文報告集、第 24 回、pp.169-173、(社)交通工学研究会、2004.10
- 50) 蓑島 治、河合 隆、森 望:交差点照明の照明要件に関する研究、第 38 回度照明学会全国大会講演論文集、pp.136、(社)照明学会、2005.8
- 51) 犬飼 昇、池原圭一、岡 邦彦:交差点における照明の事故削減効果に関する研究、第 26 回日本道路会議、30041(CD)、(社)日本道路協会、2005.10
- 52) 蓑島 治、池原圭一、岡 邦彦:交差点照明の照明要件に関する研究、第 26 回日本道路会議、30043(CD)、(社)日本道路協会、2005.10
- 53) 安藤和彦、森 望:夜間雨天時における区間線の視認性向上対策、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.22-25、(財)土木研究センター、2002.12
- 54) 若月 健、森 望、安藤和彦:二輪車を考慮した段差舗装の設置に関する実験検討、土木技術資料、Vol.44、No.1、pp.50-55、(財)土木研究センター、2002.1

(5) 交通安全対策展開の効率化

- 55) 田村 央、森 望、鹿野島秀行:効果的な交通安全対策に向けて一専門家の意見を活用する仕組み一、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.28-33、(財)土木研究センター、2002.9
- 56) 池田裕二、森 望:効果的な交通安全対策に向けて一事故多発地点対策の検討方法一、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.16-23、(財)土木研究センター、2002.9
- 57) 宮下直也、森 望、村田重雄:交通事故対策事例集について、第 25 回日本道路会議、02052(CD)、(社)日本道路協会、2003.11
- 58) 村田重雄、森 望、他 1 名:交通事故対策評価マニュアルを活用した効果的な交通安全対策に向けた取組、第 25 回日本道路会議、(CD)、(社)日本道路協会、2003.11
- 59) 森 望:道路の交通事故対策効果向上のための取り組み、交通工学、Vol.40、pp.15-20、(社)交通工学研究会、2005.3
- 60) 瀬戸下伸介、近藤久二、岡 邦彦:事故対策の立案と効果評価の現場支援手法、第 26 回日本道路会議、30037(CD)、(社)日本道路協会、2005.10
- 61) 近藤久二、瀬戸下伸介、岡 邦彦:交通事故対策の事例、評価の情報収集システム(事故対策データベース)の構築について、第 26 回日本道路会議、30038(CD)、(社)日本道路協会、2005.10

(6) 人間特性、高齢者特性の把握と対応

- 62) 若月 健、森 望、高宮 進：実車実験に基づく高齢ドライバーの運転特性の一考察、第 21 回交通工学研究発表会論文報告集、pp.221-224、(社)交通工学研究会、2001.10
- 63) 若月 健、森 望、高宮 進：高齢ドライバーの右折時特性に関する実車実験、土木学会第 56 回年次学術講演会講演概要集、IV-140(CD)、(社)土木学会、2001.10
- 64) 若月 健、森 望、高宮 進：高齢運転者のカーブ走行時特性に関する一考察、土木学会第 57 回年次学術講演会講演概要集、DISK2IV-026、(社)土木学会、2002.9
- 65) 若月 健、森 望、高宮 進：交差点・カーブにおける高齢ドライバーの運転特性、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.34-37、(財)土木研究センター、2002.9
- 66) 池原圭一、森 望、若月 健：地域内交通における高齢運転者の経路選択特性、第 25 回日本道路会議、02016(CD)、(社)日本道路協会、2003.11
- 67) 池原圭一、岡 邦彦、堤 敦洋：道路交通環境とドライバーの受容特性に関する基礎検討、第 26 回日本道路会議、30036(CD)、(社)日本道路協会、2005.10

2. 道路空間の快適性向上に関する研究

(1) 歩行者空間のバリアフリー化

- 68) 高宮 進、森 望：Experiments by Wheelchair Users at Sloped Sections、TRANSED 2001 Conference Proceedings、Volume 2、pp.626-627、TRANSED 2001、2001.7
- 69) 高宮 進、森 望：歩行者交通流からみた歩道幅員に関する一考察、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.38-43、(財)土木研究センター、2002.9
- 70) 林堅太郎、森 望、安藤和彦：バリアフリー対応の歩行者用照明、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.48-53、(財)土木研究センター、2002.9
- 71) 高宮 進、森 望、他 2 名：Form of Sidewalk-Roadway Boundaries Considering Their Use by Wheelchair Users and Visually Impaired Persons、3rd International Symposium on Highway Geometric Design、POSTER SESSION – Intersection Design Issues (CD)、TRB、2005.6

(2) 生活道路の快適性向上

- 72) 高宮 進、他 1 名：コミュニティ・ゾーン概説、人と車、2001 年 4 月号、pp.12-16、(財)日本交通安全協会、2001.4
- 73) 高宮 進、他 4 名：Precautions and Measures Necessary to Establish a Community Zone、2001 WCTR Proceedings、C2-3246 (CD)、WCTR、2001.7
- 74) 高宮 進、他 3 名：複数ハンプの設置に関する実験的研究、第 21 回交通工学研究発表会論文報告集、pp.193-196、(社)日本道路協会、2001.10
- 75) 高宮 進、森 望：実車実験による効果的なハンプ設置間隔に関する研究、第 24 回日本道路会議一般論文集、pp.38-39、(社)日本道路協会、2001.10

- 76) 高宮 進、森 望:コミュニティ・ゾーン形成時における課題とその対応事例、土木技術資料、Vol.43、No.11、pp.62-67、(財)土木研究センター、2001.11
- 77) 高宮 進、森 望:コミュニティ・ゾーンの計画と実践、土木技術資料、Vol.44、No.9、44-47、(財)土木研究センター、2002.9
- 78) 中野圭祐、高宮 進、岡 邦彦:双方向通行道路における速度抑制策とその効果、第26回日本道路会議、30025(CD)、(社)日本道路協会、2005.10

(3) 道路空間再構築

- 79) 高宮 進、大西博文:道路空間再構築に関する欧州事例報告、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.60-63、(財)土木研究センター、2002.9

(4) 道路景観の形成・保全

- 80) 森 望:道路景観向上への取り組みー景観・安全性向上のためにー、ベース設計資料土木編、No.122、pp.33-35、(株)建設工業調査会、2004.9

(5) 自律移動支援

- 81) 池田裕二:視覚障害者の歩行特性調査、土木技術資料、Vol.43、No.7、pp.17、(財)土木研究センター、2001.7
- 82) 森 望、池田裕二:Research on ITS for Pedestrians、TRANSED 2001 Conference Proceedings、Volume 1、pp.106-112、TRANSED 2004、2001.7
- 83) 森 望、池田裕二:Research on Needs and System Configuration of Pedestrian ITS、8th ITS World Congress、ITS Australia、2001.10
- 84) 池田裕二、森 望:歩行者 ITS に求められる身障者の情報提供ニーズについて、第24回日本道路会議一般論文集(A)、pp.78-79、(社)日本道路協会、2001.10
- 85) 池田裕二:歩行者支援のための ITS の開発、自動車技術会、Vol.55、No.11、2001.11
- 86) 森 望:歩行者 ITS に対する取り組み、土木計画学ワンディセミナー、シリーズ 29、pp.193-201、(社)土木学会、2002.3
- 87) 池田裕二、森 望:歩行者 ITS の研究開発ーモニター実験の結果についてー、土木技術資料、Vol.44、No.9、pp.54-59、(財)土木研究センター、2002.9
- 88) 池田裕二、森 望:Positioning Technologies for Pedestrian Navigation -Developing the Pedestrian ITS-、9th World Congress on ITS、TIS AMERICA、2002.10
- 89) 岡 邦彦、他 2 名:Conduct of free mobility assistance project、12th World Congress on ITS、ITS AMERICA、2005.11
- 90) 瀬戸下伸介、他 2 名:Technical features of free mobility assistance system、12th World Congress on ITS、ITS AMERICA、2005.11